

● 広報

おぐに



2019

7

No.777

— 元気いっぱいの踊りを披露 —

小国町消防演習が、6月2日、おぐに開発総合センター町民広場などを会場に開催され、団員約250人が日ごろの訓練の成果を披露しました。

休憩時間には、認定こども園すみれ保育園の園児によるアトラクションも行われ、音楽に合わせた鼓笛の演奏や踊りで会場を大いに盛り上げてくれました。

子どもを交通事故から守る!!

～地域で見守る子どもたちの安全～



▲国道113号小嶋スタンド前交差点では毎朝、交通指導員が子どもたちを誘導している

全国各地で幼い子どもが犠牲になる悲惨な交通事故が相次いで発生しています。こうした交通事故を減らすためには、車を運転する大人が交通事故を起こさないよう、安全運転を心がけることが何よりも大切となります。一方で、子どもたちがこうした事故や事件などに遭わないよう地域全体で見守っていくことも重要です。今月は、本町で行われている子どもたちの安全を守る活動などを紹介します。

幼い子が犠牲となる

交通事故の発生

3532。この数は、昨年1年間（平成30年中）に、国内で交通事故によって亡くなったかたの人数です。警察庁の統計データによると交通事故死者数は年々減少傾向にあり、警察庁が保有する昭和23年以降、最小の数字となっています。しかし、今なお3000人を超える尊い命が交通事故で失われているのが現実です。

さらに、今年4月以降、幼い子どもが犠牲となる交通事故や事件などをテレビや新聞等の報道を通して目にしているかたも

多いのではないだろうか。

4月には、東京都池袋で、高齢運転者の車が暴走し、3歳の女の子と母親が死亡、10人が重軽傷を負った交通事故が発生。5月には、滋賀県大津市で車2台が衝突し、軽乗用車が信号待ちをしていた保育園児らの列に突っ込んで16人が死傷した交通事故のほか、川崎市の通り魔殺傷事件など多くの幼い子どもたちが犠牲となる交通事故や事件が発生しています。

県内および町内の

交通事故発生状況

歩行者である子どもたちは交通ルールを守り、大人の指示に

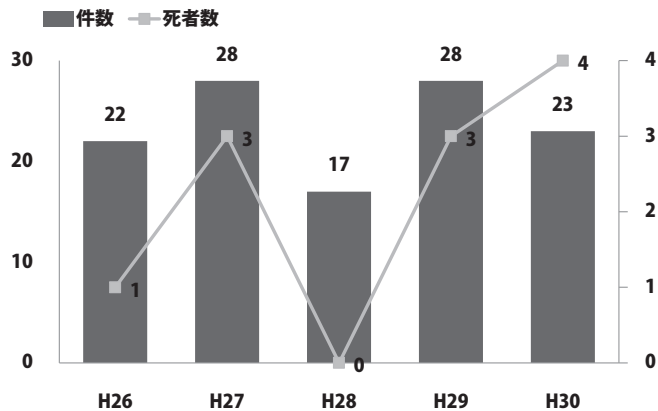


表1 町内の人身事故発生件数と死者数の推移

従っているにもかかわらず悲惨な交通事故が後を絶ちません。山形県内においても昨年1年間で5097件もの交通事故（人身事故のみ）が発生し、51人のかたが亡くなっています。山形県警察本部の資料によると県内において、物損事故を含めると約3万2500件の交通事故が発生し、免許保有者の23・5人に1人の割合で交通事故が発生していることになります。

また、小国警察署の調べによ

ると、昨年の町内での人身事故発生件数は23件、死者数は過去5年間で最も多い4人となっています。近年、小国警察署管内では死亡事故を含む重大事故の発生が多くなっている傾向にあります。

これは、新潟と仙台を結ぶ幹線道路である国道113号を中心として、前方不注視（よそ見運転）や速度超過などが原因で、対向車線はみ出しによる正面衝突や追突、単独事故が多発していることが要因に挙げられます。さらに、昨年は町道において歩行者が犠牲となる交通事故が発生しました。町内で歩行者が巻き込まれる交通死亡事故の発生は5年ぶりとのこと。

小国警察署地域交通課の竹岡史敏課長は、「歩行者事故の中で、道路横断中の事故が多いことから、道路横断中に事故に遭わないため、横断前に道路の端でしっかりと止まること。左右の見通しが悪いところでは横断せず、安全な場所を選んで渡る

こと。横断する時は急いで渡ること。左から来る車の動きに注意する。といったことが必要になります。また、夕方以降は周りが暗くなり、車から歩行者が見えにくくなります。小国町では『おぐにピッパピ力運動』を展開中です。薄暗くなる時間帯に外出するかたは、必ず夜光反射材を身に着けるようにしてください。車の運転者に早く自分の存在に気付いてもらうことが、夕方以降事故に遭わない秘訣です。町民の皆さんの夜光反射材の活用をお願いします。」と事故を防止するための歩行者側の対策等について話してくださいました。

幼児期からの交通安全教育

交通事故から子どもたちを守るため、町内ではさまざまな取り組みが展開されています。

幼い頃から交通ルールや安全に対する知識を身に着けてもらい、立派な交通社会人に育てよ



祖父母合同教室で横断歩道の渡り方の練習をする様子
（令和元年6月6日 おぐに保育園）

うという願いを込めて組織されているのが「かもしかクラブ」です。

本町では、すみれ・白百合・おぐに各保育園で組織されています。かもしかクラブでは、町の交通安全専門指導員と各保育園で選ばれた園児の母親がリーダーとなつて、子どもたちに交通ルールなどの指導を行っています。また、園児の祖父母と一緒に祖父母合同教室も開催されており、大人も子どもたちと一緒になつて交通ルールを覚えな



▲かもしかクラブにはリーダーの母親も参加し子どもたちと一緒に交通ルールを学んでいる（右が西原さん）

おす機会になっています。
白百合保育園でかもしかクラブリーダーを務める西原智子さん（緑町）は、「子どもたちは、かもしかクラブで学んだことを日常生活でも実践しています。そうした姿を見ると、保育園のかもしかクラブ活動は、子どもたちにとって、影響の大きいものだと感じています。また、親も忘れていような交通ルールを子どもから教わることもあります。かもしかクラブを通して親も子どもたちと一緒に交通ル

ールを再確認する機会にもなっています。最近、子どもが巻き込まれる事故を目にして、子どもたちは交通ルールを守っているのに『なぜ』という気持ちと、親である私たちももしかしたら加害者になってしまう可能性があるということを感じ、ハンドルを握る者として、事故を起こさないよう細心の注意を払って安全運転を心掛けています。」と話してくださいました。

国道113号の横断

新小国小学校が平成26年4月に現在の場所に開校して以降、小学校に通う多くの子どもたちが本町で最も交通量が多い国道113号を横断して通学している状況があります。

こうした中、町では子どもたちの国道横断時の安全を確保するため、小国町交通指導員のかたがたが、毎朝の街頭指導を行っています。これは、季節や天候を問わず子どもたちが学校に

通学する日は毎日、国道113号の小嶋スタン্ড前交差点で実施しています。

また、平成13年3月に制定した「小国町交通安全条例」において、毎月1日を小国町交通安全の日と定め、この日に合わせて町内各交差点やスクールバス乗降場所でも小国警察署や小国地区交通安全協会、小国町交通安全母の会など交通安全団体のかたがたの協力を得て、町内一斉の街頭指導を実施しています。

登校時は班毎に上級生と下級生とが一緒になって通学している一方で、下校時には学年によって下校時間が異なることから児童生徒が1人で下校することもあります。

こうした中、小国小学校では小学校低学年（特に1年生）の下校時の見守りを行い、児童の安全を確保するため、地域のかたがたによる、「小国小学校子ども見守り隊（以下「見守り隊」という。）」を組織しています。見守り隊は、下校時に小学校か



▲毎朝宮の台・増岡の子どもたちの見守り活動をする鈴木昭子さん（写真右側）

ら子どもたちと一緒に通学路を歩き、自宅周辺まで安全に誘導するとともに、スクールバスの乗降場所でも子どもたちの見守り活動などを展開しています。

毎朝、宮の台のスクールバス乗降場所で見守り活動を行っている鈴木昭子さん（宮の台）は、「当初は自宅から手を振るだけでもと言われましたが、健康のためにもと思って見守りを始め

町営バスの利用料減免制度

高齢者や体の不自由なかたの通院や買い物などの移動手段の負担の軽減を図るため、町営バスの減免制度を行っています。また、交通事故抑止のため、65歳以上のかたが自動車運転免許証を自主返納した場合にも全額免除されます。

町営バス（循環線を含む路線バス、デマンドタクシー）を利用される場合には、ぜひご利用ください。

■減免制度の対象者と減免割合

①70歳以上のかた…**利用料の2分の1（半額）**

②障害者手帳をお持ちのかた…**全額免除**

③②のかたの介添えで同乗するかた…**2分の1（半額）**

※ただし障害者手帳をお持ちのかた1人につき、対象となる同乗者は1人です。

④65歳以上で自動車運転免許証を自主返納したかた…**全額免除**

■その他 制度利用方法等については、6月17日に全戸配布をしたチラシをご覧ください。



▲道路横断時の左右安全確認の練習をする子どもたち
(令和元年6月13日 白百合保育園)

て約10年になりました。子どもたちが嫌な顔せず受け入れてくれるのが嬉しいです。私は朝の見送りかたですが、各地区の見守り隊のかたがたは、雨の日も雪の日も学校から、地域まで頑張っているの、とても感じています。昔は横断歩道で止まらない車もありましたが、今ではほとんど止まってくれます。全国的に事故が多い中で、小国町では事故が少ないのは子どもに関わる全ての人のおかげだと思います。今年3月、中学校を卒業した男の子から手作りのお菓子をもらい『鈴木さん9年間ありがとうございました』と言われ、本当に嬉しくなりました。子どもたちといると私自身パワーを貰えますし、何よりこれから小国町を背負っていく子どもたちを大切に育てていきたいですね。」と話してくださいました。

見守り隊や自宅前など

で子どもたちの登下校を見守ってくれているかたたちなど、多くの地域のかたの協力によって、子どもたちの日々の安全が守られているのです。

この他、小学校移転に伴い国道113号を通行・横断する児童生徒が増加していますが、小嶋スタンド前の交差点は右折レーンがないため、右折車両に直進車が阻害され、通勤時間帯を中心に渋滞の発生につながっています。このため国では、中心部における国道の歩道拡張および右折レーン設置等を進めるため、各種調査・設計などの事業が進められています。

子どもたちを守るために

広い面積を有する本町では、車は生活に欠かすことのできないものです。全国で高齢運転者による事故が多く発生しているため、運転免許証の返納が推奨されていますが、代替えとなる「足」の確保が必要です。

町では、町営バスを利用されるかたの状況に応じて、半額から免除までの各種減免制度を設けています。その中で、65歳以上で自動車運転免許証を返納したかたには、県公安委員会が交付する「運転経歴証明書」を提示することで利用料の全額を免除しています。

子どもを守るのは見守りだけではありません。運転者が常に気を引き締めて運転することも子どもを守るために大切な心掛けになります。

運転する人、子どもを見守る人がそれぞれの立場で交通事故防止のための小さな努力の積み重ねをしていくことが、重大事故の防止につながるのではないのでしょうか。

町では、子どもたちの安全を確保するため、今後とも学校や小国警察署など関係機関・団体と連携を密にするとともに、地域の皆さんの協力を得ながら安心安全なまちづくりを進めてまいります。

頻発する水害・土砂災害に備えて

防災情報は「警戒レベル」で発表されます

国では、西日本に大きな被害が出た平成30年7月豪雨を教訓に、今年3月「避難勧告等に関するガイドライン」を改定し、防災情報を5段階の警戒レベルで発表することとしました。これに伴い、町が発令する避難指示等の防災情報についてもこの取り扱いによることとなり、町民の皆さんへの防災情報の伝え方が一部変更になります。今月は、防災情報の「警戒レベル」について紹介します。

西日本豪雨 平成最大の人的被害

昨年6月28日から7月8日までの間、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨に見舞われた「平成30年7月豪雨」。この大雨では、11府県に特別警戒が発令され、各地で河川の氾濫や土砂災害が相次いで発生しました。死者・行方不明者は合わせて200人を超え、浸水等により5万2000軒以上の住宅被害が発生するなど、日本列島に大きな爪痕を残しました。

国は、中央防災会議において避難勧告等に関するガイドラインを改定し、住民等が情報の意味を直感的に理解できるよう、防災情報を5段階の警戒レベルで提供し、住民等の避難行動等を支援することとしました。

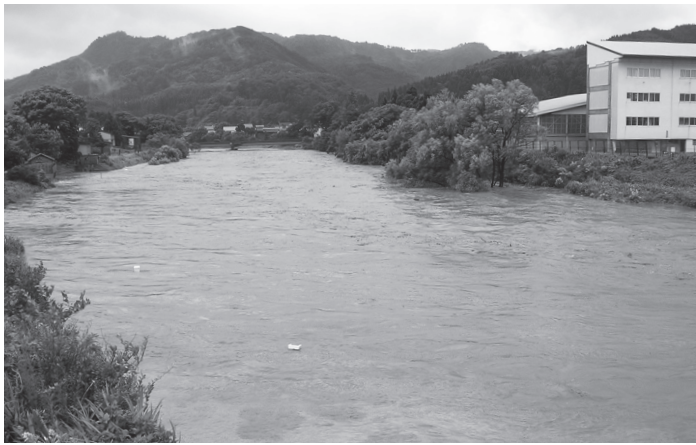
5段階の警戒レベル

この改定により、防災情報を伝達する際には、住民にわかりやすく伝えるために、これまでの「土砂災害警戒情報」や「大雨警戒」、「大雨特別警戒」などの気象庁の情報と、市町村の避難情報を一連の段階として整理し、警戒レベル1から5までの5段階で、危険度に応じて発令することとなります。

警戒レベルに応じた情報の内容や住民の皆さんがとるべき行動は下表のとおりで、警戒レベル1・2は気象庁が発令するも

警戒レベル	とるべき行動	避難情報等	発令者等
警戒レベル1	災害への心構えを高める	数日中に警戒級の大雨の可能性あり	気象庁
警戒レベル2	避難行動の確認	洪水注意報、大雨注意報	気象庁
警戒レベル3	高齢者等は避難	避難準備・高齢者等避難開始	市町村長
警戒レベル4	全員避難	避難勧告、避難指示（緊急）	市町村長
警戒レベル5	命を守るための最善の行動	災害発生情報	市町村長

▲表1 警戒レベルに応じた情報の内容



▲平成16年7月17日豪雨の際増水した横川

ので、警戒レベル3以上については市町村長が発令することとなっています。

大雨警報や洪水警報は、町が避難に時間を要するかた（高齢者、障がいのあるかた、乳幼児等）とその支援者に避難を開始させる「警戒レベル3」を発令する基準になります。また、災害が発生する恐れが極めて高い状況等となった時は、「警戒レベル4」が発令され、対象となる区域の住民全員が指定緊急避難

難場所などへ避難することとなります。実際に警戒レベル4を発令した場合、本町においては、防災ラジオや防災無線を通して、次のような内容で避難行動を呼びかけます。

「緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。〇〇地区に洪水に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました。〇〇地区のかたは、

速やかに全員避難を開始してください。避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。」

自分の命は自分で守る

本町では、昭和42年に発生した「羽越水害」以降、国の直轄砂防事業による各種砂防ダムや横川ダム等の建設によって死者を伴う大規模な水害は発生していません。

しかしながら、急峻な山間地帯にある本町には200を超

防災ラジオを点検しましょう

電源が切れた状態や、音量が下がったままの場合、いざという時に防災ラジオは正常に機能しません。

災害はいつ起こるかわかりません。防災ラジオの電源、音量を再点検いただくをお願いします。また、防災ラジオは停電時に電池が必要です。電池はこまめに交換しましょう。

■問合先 総務課危機管理担当
(☎ 62-2112) へ



る」意識を持つ

②行政は、住民が適切な避難行動をとれるよう全力で支援するという2つの柱を掲げました。

これは、防災情報を警戒レベルで発信し、伝達方法を変更したことに加えて、住民の平時からの防災意識の強化等を目的としたものとなっています。

町では、町民の皆さんの生命・財産を守るため、国や県、警察、消防などの関係機関・団体と連携を密にし、早めの情報発信を行うとともに、適切な防災対策に努めてまいります。

常日頃から災害に対する備えとして、家族内での避難場所や災害時の行動を確認するとともに、いざ災害が発生した場合に、自らの命は自ら守るための行動や隣近所の声掛けなどが必要となります。

国では、平成30年7月豪雨災害を教訓に避難対策強化のため、

①住民は、「自らの命は自ら守



小国町立小国中学校生徒会が緑の募金活動を展開

小国中学校生徒会が19,836円を寄贈

小国中学校（八木幸夫校長）の生徒会執行部が中心となって緑の募金活動を展開し、集まった募金を5月28日に仁科町長に手渡しました。緑の募金は、緑の羽根募金として昭和25年に始まり、集まった募金は森林ボランティアやNPO法人などを通じて国内外の森林づくりや人づくりをはじめ、各学校の緑化活動などさまざまな取り組みに充てられています。小国中学校では、159人から19,836円の募金が集まりました。



町営市野沢放牧場開牧式

小国町産牛の健康・品質向上のために

町営市野沢放牧場の開牧式が、5月31日に行われ、町内畜産農家10軒から50頭の牛が放牧されました。

市野沢放牧場は、放牧することによる健康な和牛づくりとコストの低減化、労働力の省力化を図るために町で整備した施設で、これまで多くの町内畜産農家が飼育する牛を放牧してきました。

今年は10月25日まで開設することとしています。

第26回朝日連峰山開き

花咲く新緑の尾根歩きを満喫

第26回朝日連峰山開きが、5月31日、6月1日に行われました。31日は、徳網地内にある山の神の祠前で地元関係者らが集まり、山での無事故を祈願する神事が執り行われました。翌日の山開き登山では、平岩山、祝瓶山、徳網山コースのほか、今年から新たな試みとして地元のマタギたちが実際に春グマ猟で使っているルートを歩くコースが加えられました。猟場を前にして現役マタギたちからクマ猟りについての話を聞くことで、猟の様子を肌で感じる事ができたと好評でした。



まご楽校

オリジナルのスプーン・フォークづくり

小学生の祖父母世代のかたがたと一緒に活動を行うまご楽校が、6月6日、旧北部小中学校で行われ、小学生など49人が参加しました。この日は白い森木工館の協力を得て、ヒノキやナラなど4種類の木を使って世界にひとつしかないオリジナルのスプーン・フォークづくりに挑戦しました。参加者は、自分が使いやすいような形にするため、紙やすりで木を削り、仕上げに柿渋やオリーブオイルを丁寧に塗り上げていました。



商工会青年部「絆」感謝運動

会員と地域・会員同士の絆を深めるために

小国町商工会青年部（渡邊拓磨部長）が、6月10日の商工会の日に合わせて、6月7日に町内の清掃活動を行いました。これは、全国商工会青年部連合会が「絆」感謝運動」と題し、清掃活動や献血活動などを実施している運動の取り組みです。

この日は、あいにくの雨ではありましたが、会員8人が参加して清掃活動が行われ、町中心部の道路沿いや公園のほか、アスモ周辺のゴミ拾いに励みました。

「Let's Go 青春～白い森ハーフ縦断～」

地域おこし協力隊

ねもと しゅんすけ
根本 俊輔

昨年7月、有志3人で行った小国町を徒歩で縦断する企画を今年も行います。今年は小国高校生と一緒に、写真・動画撮影を行いながら、その様子をインターネットなどで発信する予定です。小国高校生の頑張る姿と青春の1ページをお届けします!!

■日 時 7月6日(土)6:00梅花皮荘集合・出発予定

■ルート 梅花皮荘 → 樽口峠 → 百子沢峠（百子沢地区）→ 極楽峠（小倉地区）→ 新股地区 → 叶水地区 → 大滝地区 → 小国高校（19:00頃到着予定）

※全長約40キロ。時間によってルートが変更となる場合があります。

■その他 **道中、差し入れや沿道からの応援をお待ちしています!!**
無理なくまったり歩いていきます!!

「あっという間」

緑のふるさと協力隊

ちだ ゆみこ
千田 有実子

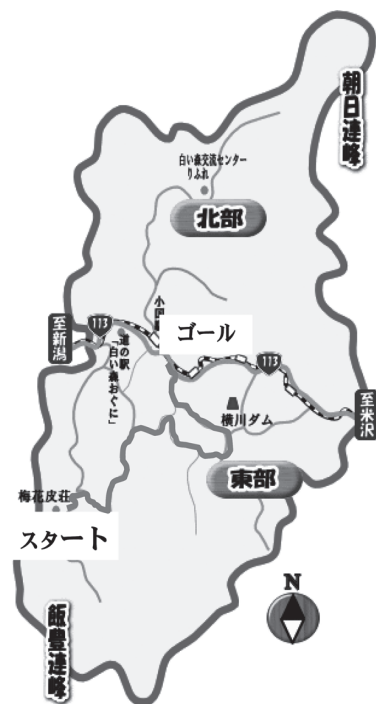
小国に来て、もうすぐ3カ月が経ちます。来た当初は雪が降るほど寒かったですが、3カ月のうちに、季節は冬から夏へ。小国は季節の移り変わりがダイナミックだなと思う今日この頃です。

暖かくなるにつれて家の中に次々と現れる虫たちに、はじめは驚きましたが、最近はそれにも慣れてきました（笑）。



▲刈払機の講習も受けてきました

そして毎日の活動も、田植え、畑仕事、山焼き、ワラビ採りなどなど…初めての連続です。大人になっても、こんなに「初めて」があることに正直驚きました。本当に毎日充実していて、もう3カ月も経ってしまうのか!と思うほど。協力隊の1年はあっという間に過ぎてしまうのだろうなと感じます。なので、1日1日を大切に、もっともっと小国のことを知りたいと思います。これからも色々なところにお邪魔します。どうぞよろしくお願いします。



▲当日のルート

山の「豊かさ」を伝え継ぐ

③ マダ皮

暮らしに欠かせない糸や紐。現在では、ほとんどの人が店で買ったものを使っていると思います。しかし、そのようになったのは、小国の地に刻まれた、悠久の歴史のなかではつい最近のことです。はるか昔から人々は山野の植物から繊維を取り、自分たちで糸をつむいできました。そしてそれらを織り、あるいは編んで、衣服や道具を作ってきたのです。



▲マダ皮製のテンゴ
(白い森くらしの資料館所蔵)

り」は国の伝統的工芸品にも指定されており、葛(くず)布(静岡県)、芭蕉(ばしょう)布(沖縄県)とあわせ日本三大古代布とされています。

マダの糸は非常に丈夫で、布だけでなく、ゴザの縦糸(『広報おぐに』本年3月号の「技を継ぐ」参照)や、かます(ムシ口を二つに折り曲げ両端を縫って袋状にしたもの)、テンゴの

素材にも用いられてきました。しかし、市販の糸や紐が容易に手に入るようになるにつれ、町内では1950年代終わり頃にはしな織りがなされなくなったようです。そして、幾千年と受け継がれてきたマダ樹皮利用の技術も消失しつつあります。

「マダはぎなんてオラらが最後だかもしれねえな。オラより若い人はやったことねえな。」そう話すのは、滝集落(昭和45年集団移転)出身で、現在幸町に暮らす福盛利栄さん(昭和10年生まれ)です。祖母が織ったというしな布(滝では「しなだ」と呼ばれた)を見せてもらいながら、皮はぎから糸つむぎに至るまでの数カ月にも及ぶ工程についてお話をうかがいました。

「マダ皮はぎのは夏の土用(立秋前の約18日間)頃だ。太いやつは木伐つて皮はぎども、細いやつは伐んねくてもされんだ。しぼりマダつていつてな。あんまり木太くなると、皮はぎねくなるんだ。」

木には裏と表があるんだわ。普通、山さ向かって見える(木



▲オオバボダイジュ

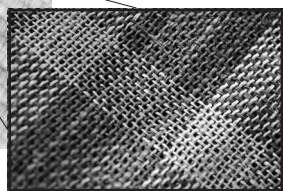
の肌の) ほうが表。皮はぎのは表だけだ。裏側はほとんど皮(※繊維が取れる内皮のこと) ねえからダメだ。

しぼりマダだと、表の部分の端っこにノザシ(鉋)で少しづつ鉋目入れて、そこさ皮と幹の間に、ツクシっていう、先つちよ削った木の棒を差し込むんだ。そうすつと上から根元までべろつとはげるから。木の裏側はかまねえでそのままにしておくと、はいだところ自然と、また皮張るんだ。何年かすつと元通りになるんだわ。木、伐つてやる場合も皮はぎ方法は同じだ。



▲しなだ (しな布)

福盛さんの祖母がつくったもので、紐を通して背負い袋にする。



はいだら、しぼりマダだとそのまま膝の上に乗せてざあっと手でしぼるわけよ。外皮を強くしぼって、しごいてやると中の皮がはがれつから。太いほうは、そうはさんねえから、はいだ皮の根元、40〜50センチぐらいのところに鉋で切れ目入れるんだ。そして、そこさ折って、皮に足かけて。折ったところから外皮を引っ張り取るわけだ。



▲糸にする前のマダ皮

左から煮マダ、 浸けマダ、 しぼりマダ

そのあと、繊維取るのに煮マダっていつて(内皮を)煮る場合と、池に浸ける場合と二通りあるんだな。煮マダだと、取ってきた皮を少し乾燥させてから、何枚も重ねて。ちょうど消防ホースみたいに巻いて鍋に入れて、灰汁(あく) 水で煮るんだ。1日煮ればたくさんであつたな。それから2、3日、川の流れに浸けて、灰汁水とぬるみき取って。あとは軒先に下げて乾かすんだ。池に浸けるときは、(内皮を)そのままべろつと池の中さ入れて。9月初め頃までずっと浸けとく。それから、川

に持つていつて洗うんだ。」
このようにして灰汁でとかしたり、腐らしたりして不純物を取り除いた繊維の束を、今度は細く裂き、1本1本つむぎ、撚(よ)りをかけて糸にしていくのです。それは、ほとんどの場合、お年寄りの女性たちの仕事だったそうです。それも、一気にするのではなく、何段階にも工程をわけ、他の仕事の合間に少しずつ、丁寧にならされていったのです。そうしてできたマダ皮製の紐や布は、単に丈夫なだけでなく、冬場、濡れても凍らないという利点があったと福盛さんは言います。

それに加えて、マダが用いられ続けてきた背景には、木や樹皮の高い再生能力とそれを活かす知恵があったことに気づかれます。「マダはよ、伐れば根っこからまたなんぼも出てくるんだ。だから昔から平らなまっすぐに立つところ。そこさちゃんと皮取る用の木を自分で作ってたもんだもの。」と福盛さんは話します。

▶人家近くの平地に立つマダの木

何本もの比較的細い幹からなっており、伐採後の萌芽更新によるものと思われる。



令和元年 第4回 小国町議会定例会

令和元年第4回小国町議会定例会が、6月6日から12日まで開催されました。令和元年度一般会計補正予算など15議案が審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に

1億6085万円を追加

一般会計では、年度当初の人事異動に伴う職員人件費の組み替えを行ったほか、役場庁舎暖房施設の修繕費、プレミアム付商品券の発行等の経費を追加したほか、財政調整基金への積み増しなど合わせて1億6085万4千円を追加し、補正後の予算総額は、62億785万4千円となりました。

■ふるさと納税について、昨年度から3つのサイトで受付を行ったところ、大幅に寄附件数が増加していることから、返礼品及びサイト

に係る手数料に要する経費を措置しました。

■平成27年度に策定した「地域創生総合戦略」が最終年となることから戦略の検証を行い、地方創生の新たな展開としての飛躍に向けた第2期「地方創生総合戦略」の策定に要する経費を措置しました。

■小国高校が、文部科学省の「地域との協働による高校教育改革推進事業」指定校に決定しました。これは、人口減少が進む中山間地域における小規模校の地域との連携モデルを実証することを目指しており、実施機関となる「白い森人（もりびと）創生プロジェクトチーム」に事業費を交付するために必要な経費を措置しました。

小国町介護保険条例の

一部を改正

介護保険法では、消費税を財源に低所得者の保険料の軽減を図っていますが、本年10月の消費税率10%への引き上

高校生議会・ 高校生との意見交換会 を開催します

小国町議会では、7月10日(水)に高校生議会を開催します。小国高校生が町長に対し一般質問を行います。終了後、高校生と議会議員の意見交換会を開催します。

■期 日 7月10日(水)

■時 間

高校生議会 13:40~14:30

意見交換会 14:40~15:30

■場 所 役場議場および大会議室

■その他

傍聴席のスペースに限りがありますのでご了承ください。

■問合先

議会事務局 (☎62-2448) へ

げに伴い、さらに軽減強化が図られるため、保険料率の改正を行いました。

小国町片洞門休憩所

設置条例を廃止

昭和54年に片洞門休憩所を整備し、観光振興と自然環境の保全を図ってきましたが、施設の老朽化が著しく水の確保が困難であり、改修に多額の費用を要することが想定されることから、当該施設を廃止することとしました。

財産の取得

冬季除雪を円滑かつ効率

的に確保するため、ロータリー除雪車1台を更新取得することとし、2業者による指名競争入札を執行したところ、4022万690円で昭和建機株式会社に落札決定し、これに消費税等を加えた4424万1690円で購入するものです。

小国町監査委員を選任

監査委員の遠藤仁氏が本年7月2日に任期満了となることから、後任として伊藤幸治氏(緑町)を選任しました。任期は本年7月3日から令和5年7月2日までです。

7月21日(日)執行 第25回参議院議員

通常選挙について

7月21日(日)は第25回参議院議員通常選挙の投票日です。国民の声を政治に反映させるための大事な選挙です。忘れずに投票しましょう。

◎公示日と投票日

■公示日 7月4日(木)

■投票日 7月21日(日)

◎投票できるかた

■投票日当日に満18歳以上のかた(平成13年7月22日までに生まれたかた)

■平成31年4月3日以前から小国町に住所を有するかた

投票方法

参議院議員通常選挙は、山形県選出議員選挙と比例代表選出議員選挙の2つの投票となります。山形県選出議員選挙は「候補者名」を、比例代表選出議員選挙は「政党名」

期日前投票は

7月5日(金)から

または「候補者名」をそれぞれ投票用紙に記入して投票します。

投票日当日に、仕事や買い物、レジャー等で不在になるかたは、期日前投票をしましょう。入場券を忘れずに持参してください。お手元にかたは、投票所で係員にお申し出下さい。

会場① 役場2階ラウンジ

■期間

7月5日(金)～

7月20日(土)

■時間

8時30分～20時

会場② 健康管理センター

森のホール

■期日

7月17日(水)

■時間

9時～16時

各種不在者投票について

■町外に滞在されているかたの不在者投票

仕事や学業などで、投票期間中、町内にいないかたは、滞在地の市区町村で不在者投票を行うことができます。投票用紙等は、所定の手続きにより郵便で交付しますので、郵送の期間を考慮し、早めにお手続きください。

■指定病院等での不在者投票

都道府県選挙管理委員会が指定した病院、老人ホーム等の施設に入院又は入所されているかたは、その施設で申し出によって不在者投票ができます。詳しくは、各施設にお問い合わせください。なお、町内では、次の施設が指定されています。

●町立病院

●介護老人保健施設温身の郷

●特別養護老人ホームさいわい荘

■郵便による不在者投票制度や不在者投票の代理記載制度

重度の身体障がいがあるかたなど、一定要件に該当するかたは、郵便による不在者投票ができます。その際、自書できないかたについては、あらかじめ届け出られたかたが代理記載をすることもできます。

郵便による投票をされる際は、事前に「郵便等投票証明書」の交付を受ける必要がありますので、早めに手続きを行ってください。

投票所、投票時間は、事前に配布される入場券に記載していますので、ご確認ください。

開票は、即日開票

■開票 7月21日(日)21時～

■場所 おぐに開発総合センター

※詳しくは、選挙管理委員会事務局(☎62・2112)

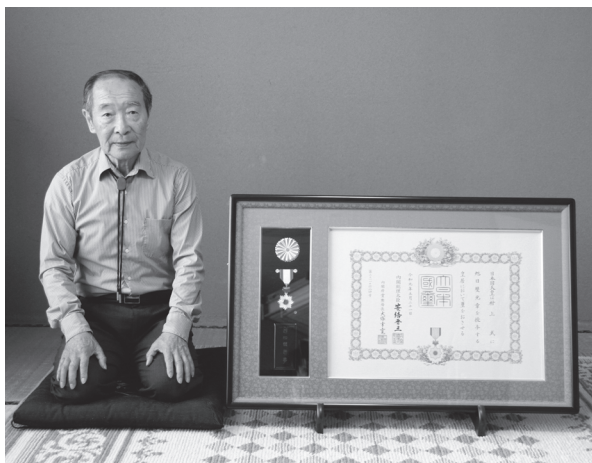
にお問い合わせください。

村上武さんが 旭日双光章を受章

元長井市・西置賜郡歯科医師 会理事の村上武さん（栄町）が、 旭日双光章を受章されました。

村上さんは、昭和46年4月に
村上歯科小国分院を開設して以
降41年の永きにわたり地域住民
の健康保持に尽力されるととも
に、口腔衛生思想の普及・啓発
を図り、住民の健康増進に取り
組まれました。

また、昭和47年4月以降の28
年間、長井市・西置賜郡歯科医
師会理事として地域住民の口腔
衛生の向上に寄与されました。



令和2年度採用 小国町職員採用試験等について

■募集職種 ①上級行政（大卒程度）②上級土木（大卒程度）③初級行政（高卒程度以上）④初級土木（高卒程度以上）⑤保健師⑥看護師⑦歯科衛生士⑧移住枠（初級行政または初級土木）

■募集人員 ①③⑥⑦ 若干名 ②④⑤⑧ 各1人

■受験資格

- ①平成元年4月2日から平成10年4月1日までに生まれたかた（令和2年3月大卒卒業見込みのかたを含む）
- ②平成5年4月2日から平成14年4月1日までに生まれたかた（令和2年3月高卒卒業見込みのかたを含む）
- ③昭和54年4月2日以降に生まれたかた（保健師資格取得者、本年度取得見込みのかたを含む）
- ④平成元年4月2日以降に生まれたかた（看護師資格取得者、本年度取得見込みのかたを含む）
- ⑤昭和49年4月2日以降に生まれたかた（歯科衛生士資格取得者、本年度取得見込みのかたを含む）

⑧昭和49年4月2日から平成6年4月1日までに生まれたかたで、社会人経験があり、本町に移住することができるかた

■試験日及び会場

▽1次試験 9月22日（日）
長井市立長井南中学校

▽2次試験 10月下旬～11月上旬
小国町役場（予定）

■試験内容

▽1次試験

①③⑧教養試験、職場適応性検査、作文試験

②④教養試験、専門試験、職場適応性検査、作文試験

⑤専門試験、職場適応性検査、作文試験

⑥看護師適性検査、職場適応性検査、作文試験

⑦職場適応性検査、作文試験

▽2次試験 面接試験（第1次試験合格者対象）

■募集期間

7月8日（月）～8月5日（月）

（郵送の場合必着）

■その他 申込書の請求方法や提出書類など、詳しくは町ホームページをご覧ください。

担当まで問い合わせください。

■問合先 総務課行政管理担当（☎62-2112）へ

入札結果情報（令和元年5月21日～令和元年6月20日実施）

単位（円）

入札日	工事名	施行場所	工期（完了）	予定価格	落札業者	落札価格
R1.5.22	平成31年度町道区画線補修工事	町道指定路線	R1.7.31	2,740,000	山田塗装㈱	2,650,000
R1.5.27	令和元年度除雪機械購入	小国小坂町	R1.10.31	43,842,000	昭和建機㈱	40,220,690
R1.6.10	平成30年度線越社会資本整備総合交付金事業 町道松岡黒沢峠線用地測量業務委託	黒沢	R1.8.9	8,120,000	㈱小国測量設計事務所	7,900,000
R1.6.18	令和元年度町道代場山線改良舗装工事	小国町	R1.9.20	15,235,000	㈱船山工務店	15,000,000
R1.6.18	令和元年度町道舟渡上平線舗装補修工事	舟渡	R1.8.23	8,052,000	小国開発㈱	6,600,000
R1.6.18	令和元年度あけぼの公園防護柵改修工事	あけぼの	R1.8.30	2,046,000	斎藤建設㈱	2,000,000
R1.6.18	令和元年度小国町水道事業針生配水池取付道路舗装整備工事	小渡	R1.9.20	17,093,000	大和建設運輸㈱	16,500,000
R1.6.18	令和元年度小国町公共下水道事業小国浄化センターストックマネジメント基本計画策定業務委託	増岡	R2.3.13	15,256,000	日本水工設計㈱ 山形事務所	14,000,000
R1.6.20	令和元年度超音波画像診断装置購入	あけぼの	R1.8.30	8,600,000	東北医療機器㈱	7,870,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

白い森まるごと塾

町民の暮らしが少しずつ豊かになることを目指す「白い森まるごとブランド構想」。これを進めるためには、小国に暮らす私達が町の魅力を再認識し、町外からのお客様に対して一人ひとりがおもてなし役であるという意識を持つことが大切です。また、魅力ある地域資源を活用した商品やサービスの開発、小国ならではのビジネスの創出、戦略的な情報発信も不可欠であり、そのためには新しい知識や技術も必要であることから、町ではさまざまなテーマで町民の皆さんに学んでいただく「白い森まるごと塾」を開催しています。

今年度の第1回目は、「小さくても強い会社になる方法」をテーマに開催します。事前申込なしでも参加いただけますので、ぜひお問い合わせのうえお越しください。

今後、白い森まるごと塾の情報は、町のホームページやフェイスブック等でお知らせしていきます。こんなテーマで開催してほしいという希望も受け付けていますので、総合政策課白い森ブランド戦略室までお気軽にお知らせください。

白い森まるごと塾 VOL. 9
小さくても強い会社になる方法

小さくても強い会社になるためには、どうしたらよいのか。販路から逆算した商品開発や、価格と量・品質に応じた規模の流通販路の開拓等について、事例も交えて教えていただきます。
今後のビジネスに繋げるためにも、
お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

日時：7月4日(木) 15:00～17:00
*18時から講師を交えた交流会を開催します
(会場：道の駅あいあい 会費：3,000円)

会場：小国町役場4階 大会議室

**講師：意食充株式会社取締役会長
北海道ニュービジネス協議会理事
東京農業大学非常勤講師
石井 宏和 氏**

参加費：無料

申込：電話、Fax でお申し込みください。

申込・問合せ
小国町役場 総合政策課 白い森ブランド戦略室 遠藤
〒999-1363
山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町 2-70
Tel: 0238-87-0821 Fax: 0238-62-5464 E-mail: mirai@town.oguni.yamagata.jp

主催：小国町・小国町商工会

移住者をまるごと応援します！

支援事業名	内 容	予算額	担 当
介護職員初任者研修費補助金	介護職員初任者研修費用全額を助成します。	150千円	健康福祉課長寿介護担当 (☎61-1000) へ
お試し滞在補助金	本町への移住を目的として住居又は仕事を探す、情報収集をする等の活動を行う者に対して滞在費を助成します。	285千円	総合政策課 協働のまちづくり担当 (☎62-2264) へ
就業目的移住者支援金	就業を目的として移住した世帯に対し支援金を助成します。	1,100千円	
結婚新生活支援事業費補助金	結婚に伴う新生活を経済的に支援し住居費及び引越費用の一部を助成します。	450千円	
小国町移住世帯向け食の支援事業	県外から移住した世帯に、米60kg、味噌3kg、醤油3ℓを現物で助成します。	300千円	産業振興課商工労政担当 (☎62-2416) へ
地域企業人材マッチング促進事業	町内の新社会人に3万円のお祝い金を交付します。また、町外から従業員を雇用した事業所に補助金を交付します。	3,013千円	
小国の住宅総合支援事業補助金	移住者へ住宅を貸与する目的で空き家をリフォームした場合、改修費用を助成します。	600千円	地域整備課建設管理担当 (☎62-2431) へ

※詳細は担当課までお問い合わせください。

※移住者とは、転勤・進学以外の目的で町外から転入したかたとなります。

お知らせ

町立病院歯科の受付および診療時間の変更について

町立病院歯科の診療体制の変更に伴い、受付及び診療時間を次のとおり変更します。

■受付時間

午前の部 10時～12時30分
午後の部 14時～17時30分

■診療時間

午前の部 10時～13時
午後の部 14時～18時

■変更点

午後の部の終了時間がそれぞれ30分短縮となります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■変更日 7月2日(火)

■問合先 小国町立病院(歯科) (☎61・2513)へ

町営バスのダイヤが変わります

町営バスのダイヤが、7月1日(月)から変わります。お間違いないよう、全世帯に配布している「小国町営バス時刻表 令和元年7月1日

改正」をご確認ください。

■問合先 町民税務課 (☎62・2260)へ

役場庁舎等施設敷地内禁煙のお知らせ

健康増進法の改正に伴い、7月1日から新たに次の施設を敷地内全面禁煙(電子タバコを含む)とします。皆様のご理解ご協力をお願いします。

■対象施設 役場庁舎、健康管理センター、介護老人保健施設温身の郷、おぐに開発総合センター、金目そばの館、水源の郷交流館、マタギの郷交流館

※各学校、保育施設、体育施設
町立病院は既に全面禁煙としています。その他の公共施設でも、屋内禁煙や分煙室設置などの対策が取られていますので、指定された場所での喫煙をお願いします。

■問合先 総務課 (☎62・2112)へ

目指せ海の事故ゼロ！

海水浴をする時は、定めら

れた海水浴場や期間を守り遊泳しましょう。海上保安庁への緊急通報は118番。山形県の海に関する事故事例については左記へ問い合わせください。

■問合先 酒田海上保安部

交通課 (☎0234・24・0055)へ

募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 2戸(3・4階)

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

②町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が21万4千円以下で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した生活を送ることができ、同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること

①②共通

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 7月10日(水)
◎入居時期 7月下旬以降
◎問合先 地域整備課建設管理室 (☎62・2431)へ

小国町外国人技能実習生交流会参加者募集

■対象 中学生以上のかた

■日時 7月27日(土)9時～13時

■場所 小国町民総合体育館・多目的屋内運動場あいべ

■内容 軽スポーツを通じて交流を図ります。そうめん流しやかき氷を振る舞う予定です。

■参加費 無料

■申込締切 7月12日(金)

■申込・問合先 おぐにスポーツクラブYu i (☎62・5808)へ

令和元年度狩猟免許(初心者)講習会

■日時 7月27日(土)9時～

■場所 赤湯公民館

■対象 新規狩猟免許取得予定者

■受講料 5000円

■申込締切 7月22日(月)

■申込・問合先 一般社団法人山形県猟友会 (☎023・624・0382)へ

7月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 7月26日(金)
- ・受付時間 13:10～13:20
- ・対 象 平成31年3月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 7月26日(金)
- ・受付時間 13:00～13:10
- ・対 象 平成30年7月生まれ

■3歳児健診

- ・期 日 7月12日(金)
- ・受付時間 12:30～13:00
- ・対 象 平成27年11月、12月、平成28年1月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■7月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9:30～11:30・13:00～15:30 (水・金は午後のみ)	不要
子育て講座「絵画製作」	7月4日(木)	9:30～11:30・子育て支援センター	不要
子育て講座「救急法について」	7月11日(木)	10:20～11:20・子育て支援センター	不要
子育て講座「エアロビクス」	7月18日(木)	10:20～11:20・健康管理センター	必要

■対象者 なかよし広場・子育て講座 就学前のお子さんとお家のかた
■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

7月7日(日)	南陽 黒江歯科医院	0238-47-2154
7月14日(日)	米沢 米沢ファミリー歯科・矯正歯科	0238-21-5533
7月15日(月)	長井 鈴木歯科医院	0238-84-6616
7月21日(日)	高畠 顎口腔クリニック根岸山	0238-40-8248
7月28日(日)	米沢 たいら歯科医院	0238-40-8404

求 人 情 報

右の表は6月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2019.7

7月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 7月26日(金) 水道料
- 7月31日(水) 固定資産税、国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
長井郵便局 (日本郵便(株)郵便事業総本部)	郵便物・小包、配達・集荷	2人	8:00～16:45の間の8時間他
(株)JR/パーソナルサービス 東北支店	(派)現場事務	1人	8:30～17:30
荒川興業(株)	事務(生産管理)	1人	8:20～17:10
大和建設運輸(株)	大型トラック運転手	2人	8:00～17:00
	重機運転手	1人	
	土木施工管理技士	1人	
猪野電気工事(株)	内線工事作業員	1人	8:00～17:00
ひさご電材(株)小国工場	生産管理業務	1人	8:30～17:30
(株)高橋商会	ガソリンスタンドスタッフ	1人	8:00～17:00他
大河内産業(有)	一般事務員	1人	8:00～17:00
	砂利プラント運転士	1人	
	ダンプ・重機運転士	1人	
(株)コメリ	販売・店舗運営職 (リージョナル社員)	2人	8:45～17:45他
(株)サンプラス下越	(請)JR駅舎の清掃および除雪 (伊佐領駅→羽前松岡駅)	1人	5:00～13:00
医療法人社団 緑愛会 満天の家	看護師	1人	8:30～17:30の間の3時間以上

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

7月の あいベイベント 夏だよ！「子どもスポーツ夏祭り」



- 日 時 7月27日(土)16:00～18:00
- 対象者 小学生以上（幼児は保護者と一緒）
- 持ち物 室内シューズ、飲み物
- 内 容 ニュースポーツとそうめん流し
- 参加費 中学生以上500円、小学生以下300円
- 申込締切 7月24日(水)

マイクロバストレッキング

- 期 日 7月7日(日)7:30出発
- 場 所 湯殿山神社 本宮周辺
- 集 合 町民総合体育館
- 対象者 どなたでも
- 持ち物 雨具、入浴道具、飲み物、軽食など
- 参加費 会員3,500円、非会員4,500円
- 申込締切 7月4日(木)

■申込・問合先
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

相 談

▽消費者相談

- 日 時 7月27日(土)
10:00～12:00
- 場 所 役場
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合先 町民税務課町民生活担当へ

町民プールが7月7日オープン！

- 開放期間 7月7日(日)～8月20日(火)
- 開放時間
9:00～12:00、13:30～16:30
※昨シーズンまでの開放時間と異なりますので、ご注意ください。
- 利用料 無料
- 問合先 教育振興課（☎62-2141）へ

地域での支え合い活動を行うモデル地区を募集します！

社会福祉協議会では、高齢になっても長年住み慣れた地域でいきいきと元気に過ごせるように、生活支援コーディネーターが中心となり、地域の支え合いを充実するための活動を支援しています。自分ができる範囲で高齢者等のサポートを行う活動を広げ、ご近所同士で支え合える地域づくりを目指し、今年度は、モデル地区として活動いただける地区を募集します。

- 募集期間 7月1日(月)～8月9日(金)まで
- 募集地区 駐在地区2カ所
- 応募・問合先 小国町社会福祉協議会事務局生活支援コーディネーター野崎（☎62-2825）へ

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

- ～新着図書～
- | | |
|---------------------|---------|
| ◇学校の「当たり前」をやめた | 工 藤 勇 一 |
| ◇読書する人だけがたどり着ける場所 | 齋 藤 孝 |
| ◇戦後はまだ…刻まれた加害と被害の記憶 | 山 本 宗 輔 |
| ◇老けない人はこれを食べてる | 牧 田 善 二 |
| ◇作って飾ろう！紙工作 | 誠文堂新光社 |
- 休館日 毎週月曜日・祝日

編集後記

先月18日夜、隣町の村上市で最大震度6の地震が発生しました。強い揺れが長く続いたため、緊急地震速報に気づき、びっくりした自分たちが、何が起こったのか、どうしたらいいかわからなかった。地震発生後、しばらくは、自分たちが住んでいる地域で、どうしたらいいかわからなかった。地震発生後、しばらくは、自分たちが住んでいる地域で、どうしたらいいかわからなかった。

白い森おぐに湖体験

- 日 時 8月4日(日)8:30～
- 場 所 開会式を「水源の郷交流館」駐車場で行います。その後、各会場へ移動します。
- 内 容 カヌー体験、ツリーイング体験、釣り堀体験、パークゴルフ体験、木工教室、横川ダム・発電所見学など
- 定 員 カヌー体験、ツリーイング体験、釣り堀体験は定員を設ける予定です。その他は定員を設けず、先着順にお楽しみいただけます。
- 問合先 横川ダム管理支所（☎65-2363）または役場総合政策課（☎62-2264）へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●総務課（行政管理担当／管財・危機管理担当／財政担当） ☎62-2112 ●総合政策課 ☎62-2264
 ●会計室 ☎62-2406 ●観光経済室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

（ 5 月 届 出 分 ）

誕生おめでとうございます。

小国町木口陽翔（はると 達矢）
 大石沢川崎惺座（せいざ セドリック）
 小国小坂町長岡ななせ（典和 和美）
 岩井沢斎藤翠（すい 隼美）

結婚おめでとうございます。

（大宮遠藤広寿）
 （新庄市伊藤美沙紀）
 （岩井沢今正次郎）
 （山形市石井千尋）
 （湯花菅野将一）
 （山形市伊藤綾子）
 （新潟市岡村俊也）
 （東原佐藤律子）

おくやみ申し上げます。

北須貝勝義 (77)
 伊佐領舟山あき (85)
 岩井沢後藤貢 (65)
 岩井沢今盛力ネ (82)
 杉沢佐藤好美 (79)
 樋ノ沢山口義明 (58)
 市野沢佐藤二男 (85)
 舟渡和田市亮 (86)
 小国小坂町藤田ヨイ (70)
 舟渡塚原勉 (87)
 五味沢佐藤新吉 (89)
 緑町佐藤鴻泰 (21)
 小玉川藤田ユキ子 (84)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際に
 お申し出ください。

人口のうごき（令和元年5月31日現在）

人口 男・・・3,720人（－15）
 女・・・3,771人（－3）
 計・・・7,491人（－18）
 世帯数 3,062世帯（－3）

仕事

vol.14

図鑑

特別養護老人ホームさいわい荘

代表者 施設長 小池克昌
 従業員数 95人
 所在地 小国町大字岩井沢563-1
 事業概要 介護老人福祉施設

特別養護老人ホームさいわい荘に勤める高橋鈴伽（えりか）さん（長沢）。高校時代、将来的に祖母の介護等ができるようになりたいと思い介護福祉士を目指し、短期大学で資格を取得し、さいわい荘に勤務して今年2年目。仕事は、食事介助や入浴介助などのほか、より良い介護を提供するため、生活の中での利用者さんの変化などについて確認しながら、各種記録作成など多岐にわたります。高橋さんは、「介護は人相手の仕事なので難しいこともたくさんあります。入社当初は不安も沢山ありましたが、職場の雰囲気も良く、わからないことは何でも教えてくださいますし、何より職員全員が利用者さんを第一に考えて仕事をされていて見習うことばかりです。今後は、利用者さんとの信頼関係を築きながら、利用者さんから頼りにされる職員になっていきたいと考えています。若い人で介護福祉士を目指すかたも多いと思いますが、ぜひ、さいわい荘で一緒に働きましょう。」と話してくださいました。

さいわい荘は、昭和59年4月に50床（入所定員）の介護老人福祉施設として開所し、今年35年目を迎える施設で、現在は100床を有しています。

小池施設長は、「世代の違うかたをお世話する中で、さまざまな話を聞くことができます。その中で、利用者さんから色々なことを学ぶ機会もあり、人としても大きく成長できるのが介護の仕事だと思います。」と話してくださいました。さいわい荘では、「やさしい手・やさしい言葉で真心介護」を基本姿勢に、利用者さんとのコミュニケーションを大切に、各種介護事業を展開しています。



▲利用者さんをお世話する高橋鈴伽さん

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.3



③「水源の郷交流広場パークゴルフ場」

白い森ダム湖（横川ダム）上流の叶水地区内にある水源の郷交流広場パークゴルフ場。平成23年にオープンし、平成27年に公益社団法人日本パークゴルフ協会の認定コースを取得。利用者は年間3,000人以上で、これまで県内外から延べ2万人のかたがパークゴルフを楽しんでいます。場内には、平坦なコースで初心者でも気軽に楽しむことができる飯豊コースと、起伏が多く打数を競い合って楽しく遊べる朝日コースがそれぞれ9ホールずつ、計18ホールあります。道具の貸出も行っており、道具をまだ持っていないかたでも気軽に訪れていただき、楽しいひと時を過ごしてみたいはいかがでしょうか。